

パーキンソン病・レム睡眠行動異常症の治療ために受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター脳神経内科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

迷走神経断面積測定によるパーキンソン病とレム睡眠行動異常症の病状進行予測の検討

【研究の背景と目的】

パーキンソン病は振戦、動作緩慢、筋強剛、姿勢反射障害を主な症状とする神経変性疾患ですが、パーキンソン病の運動症状が出現する前に便秘などの自律神経症状が先行すると言われています。

また、レム睡眠行動異常症はパーキンソン病の前駆病態と位置付けられており、便秘症状もパーキンソン病と同様に認められます。パーキンソン病では消化管運動を支配している自律神経である迷走神経が萎縮することで便秘症状があらわれるといわれています。今回、私たちは頸部超音波検査の画像を用いて迷走神経の面積を測定し、便秘症状との関係を明らかにすることで迷走神経の面積測定をパーキンソン病あるいはレム睡眠行動異常症の新たな自律神経検査法として確立できるかどうか検討します。またレム睡眠行動異常症がパーキンソン病へ進展する過程での発症予測に役立つ検査法であるについても検討します。

【対象となる方】

パーキンソン病の患者さんとレム睡眠行動異常症の患者さんで、2020年7月1日から2021年7月31日の間に当院（獨協医科大学埼玉医療センター）で頸部超音波検査を受けた方。

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。

生年月、年齢、性別、身長、体重、罹患期間、便秘症上の有無、UPDRS スコア、CAS、頸部超音波検査の画像。

なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院 2021 年 9 月度の臨床研究倫理審査委員会承認日から 2023 年 12 月 31 日まで実施され、100 名の患者さんにご参加いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は国内や国際学会に発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 宮本智之（主任教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 担当者：宮本智之（主任教授）

電話番号：048-965-1229（外来直通） 平日：9時00分から16時00分（休日・夜間に対応不可）

以上

脳ドックで頸動脈超音波検査を受けられた方へ (臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター脳神経内科では、脳ドックで受診された方の受信情報を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる受診者への新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない受診者および本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

迷走神経断面積測定によるレム睡眠行動異常症とパーキンソン病の自律神経障害との関連性についての検討

【研究の背景と目的】

当院ではパーキンソン病とレム睡眠行動異常症の患者さんの頸部超音波検査の結果から迷走神経断面積を測定し症状進行予測についての研究を行っています。この研究を進めるためには、病気を持たない健常者の迷走神経断面積と比較する必要があります。そこで健診の画像として脳ドックを受診され頸部超音波検査で異常の認められなかった方の頸部超音波検査の画像を使用させていただきます。

【対象となる方】

脳ドックで、2021年1月1日から2022年12月31日の間に頸部超音波検査を受けた方。

【使用する検体・診療情報】

使用する診療情報は以下のとおりです。

受診者情報：生年月、年齢、性別、検査日、便秘の有無、CAS、頸部超音波検査の画像。

なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院2021年9月の臨床研究倫理審査委員会承認日から2022年12月31日まで実施され、100名の脳ドック受診者にご協力いただく予定です。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は国内や国際学会に発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公

表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 宮本智之（主任教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 担当者：宮本智之（主任教授）

電話番号：048-965-1229（外来直通） 平日：9時00分から16時00分

以上